

# 危険物新聞

第 5 3 4 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集 松 村 光 惟  
発行人

大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル

TEL (531) 9717・5910

定価 1部 60円

## 全国危険物安全大会 栄ある消防庁長官表彰受賞

保安功労者 北村氏 (大東市協会長)、優良事業所 広栄化学工業 (大阪市)



吉村秀實先生の記念講演

消防庁、(財)全国危険物安全協会では、全国危険物安全大会並びに(財)全国危険物安全協会設立10周年記念式を6月8日、東京「麴町会館」において開催した。

大会は、谷合消防庁長官、福島(財)全国危険物安全協会理事長の出席のもと、全国消防長会会長、都道府県消防主管課長会会長など多数の来賓を迎え関係者約400名出席の中、盛大に開催された。

式典では、消防庁長官表彰、(財)全国危険物安全協会理事長表彰、危険物安全週間推進キャンペーン標語最優秀作品入選者表彰が行なわれ、危険物安全大会宣言で式典が締めくくられた。

続いて、(財)全国危険物安全協会設立10周年記念式に移行し、福島全危協理事長より、長年の功労をたたえ各種の感謝状が贈呈され、終了した。

その後、記念講演会として、NHK解説主幹、吉村秀實先生による「21世紀の防災」の講演が行なわれた。

最後に、懇親会に移行し、なごやかな雰囲気の中に散会した。

なお、当日、消防庁長官表彰を受賞した危険物保安功労者並びに優良危険物事業所で、大阪府下の関係は次のとおりである。

### 消防庁長官表彰

■ 危険物保安功労者

▷北村吉左衛門 (大東市火災予防協会会長)

■ 優良危険物関係事業所

▷広栄化学工業(株)大阪製造所 (大阪市)

### 北村吉左衛門氏の略歴



・シボレー(株) (主として化粧品の製造販売) の取締役会長。

・昭和40年、大東市火災予防協会設立と共に同常任理事に就任。

その後、監事を歴任し、

昭和51年に副会長、平成5年に会長に就任し現在に至っている。



広栄化学工業株式会社大阪製造所、円内は大阪所長

広栄化学工業株式会社大阪製造所の概要

- ・大阪市城東区にある同社大阪製造所では、主として医薬品中間体、有機工業製品などを製造する化学工場である。
- ・危険物施設は、45施設で、特殊引火物をはじめ、1類、2類、3類、4類などの危険物を指定数量の5,529倍貯蔵、取扱っている。
- ・地元消防長、知事、全危協理事長表彰を受賞し、平成8年にISO9002の認証を取得している。現在、専務取締役製造所長は下條澄男氏。

全危協理事長表彰及び感謝状 (大阪府関係)

当日、行われた財全国危険物安全協会理事長表彰並びに創立10周年記念感謝状の受賞者で、本会の関係者は次のとおりである。

全危協理事長表彰

- 危険物保安功労者
- ▷竹谷正宏 (柏羽藤火災予防協会会長)

- ▷澤博 (堺市中防災協会会長)
- ▷小池明 (茨木市災害予防協会副会長)
- 優良危険物関係事業所
- ▷大日本インキ化学工業株式会社吹田工場

創立10周年記念感謝状

- 保安講習テキスト検討委員会委員
- ▷松村光准 (財大阪府危険物安全協会専務理事)
- 都道府県協会事務局職員
- ▷真実修 (財大阪府危険物安全協会主幹)
- ▷田中貴子 (財大阪府危険物安全協会主幹)

危険物施設安全推進講演会開催

6月10日、KKRホテル大阪で

全国危険物安全週間の一環として、危険物安全週間推進協議会では、6月10日、KKRホテル大阪で平成10年度危険物施設安全推進講演会を開催した。

本年は、6月9日の東京会場と10日の大阪会場の2会場で行なわれ、大阪会場では、約280名の危険物事業所・消防関係者等が参加した。

基調講演では、消防庁危険物規制課課長補佐兼特殊災害室課長補佐秋葉洋氏による「セルフスタンドの安全対策について」の講演があり、引き続き、事故事例では、静岡県小笠地区消防組合消防本部予防課主幹岡本吉弘氏・同係長渡辺富佐氏による「タンクローリー横転事故における化学物質漏えいについて」と加古川市消防本部予防課長山本臣氏による「塩化ベンジルの重縮合反応による爆発事故」の報告があり、聴講者は事故の恐ろしさと危険物施設の安全性について認識を新たにし、有意義な講演会となった。

YAMATO ROTEC  
YOSHIZUMI

かんじる しらべる けし  
**感知・通報・消火**  
**・ケムロボ**

消防設備は、さまざまな防災機器の  
システムにも必要の機器です。  
総合防災ブローカー・ヤマロボでは、  
「かんじる・しらべる・けし」の  
安全設備システムにて、  
目的に応じた防災機器の選定・高効率を達成  
を実現させます。

防災にも消防設備としての  
システム、システム・ケムロボ、  
システム・ケムロボ

ヤマトスロテック株式会社  
本社 〒537 大阪市東淀川区深江北2-1-10 TEL. (06)976-0701代 東京本社 〒106 東京都港区白金台5-17-2 TEL. (03)3466-7151代

## 大阪府危険物安全大会

6月16日、KKRホテル大阪で開催

大阪府・財大阪府危険物安全協会共催、大阪府下消防長会協賛、財消防試験研究センター後援のもと、第8回大阪府危険物安全大会が6月16日、KKRホテル大阪(大阪市内)において開催された。

平成3年度から大阪府では、毎年6月を「大阪府危険物安全月間」と定め、危険物に関する意識の高揚及び啓発、危険物関係事業所の自主保安体制の確立を図ることを目的としている。

この大会は、府下の危険物関係者が一堂に集い、危険物の保安に尽力し、顕著な功績を収めた方々にたいし大阪府知事感謝状、並びに財大阪府危険物安全協会理事長表彰の贈呈をし、その功労を称えとともに記念講演会を行なうものである。

当日は、自治省消防庁から遠藤危険物規制課課長補佐を迎え、府下の消防関係者、危険物事業所関係者、府民など約300名の参加者があり、盛大に開催された。

第一部、式典の部では、横山ノック大阪府知事の式辞に始まり、優良危険物関係事業所16社、優良危険物取扱者4名、危険物保安功労者5名にそれぞれ知事感謝状が贈呈された。

引き続き、財大阪府危険物安全協会理事長表彰に移り、優良危険物事業所14社、優良会員事業所7社、優良危険物取扱者6名、功労役員等4名に表彰状が、さらに、危険物安全管理等に関する論文優良受賞者に表彰状と記念品がおくられた。

続いて、谷合消防庁長官、大阪府議会議長並びに大阪府下消防長会会長の祝辞があり、鴻野本協会理事長



消防庁長官祝辞を代読される遠藤課長補佐

の閉会の辞で式典の部を終了した。

第二部の記念講演会では、通産省工業技術院地質調査所大阪地域地質センター、地域地質研究官寒川旭氏による「大阪平野の地盤災害と地震考古学」の講演が行なわれた。

### 大阪府知事感謝状

#### ■ 優良危険物関係事業所

- ▷城南産業(株) (吹田) ▷東洋製罐(株)茨木工場 (茨木)
- ▷大阪ユーキ塗料(株) (八尾) ▷日本バルカー工業(株)八尾工場 (八尾)
- ▷ダイトーケミックス(株) (大東) ▷竹林化学工業(株) (東大阪)
- ▷村川燃料商会 (四条畷) ▷チヨダコンテナ(株) (守口門真)
- ▷関西電力(株)春日日出発電所 (大阪) ▷参天製薬(株) (大阪)
- ▷ヤマトプロテック(株)大阪工場 (美原) ▷カネコ石油(株) (柏羽藤)
- ▷日本石油(株)堺油槽所 (堺高石) ▷高圧ガス工業(株)堺工場 (堺高石)
- ▷大同化学工業(株)大阪油槽所 (泉大津) ▷(株)共和泉佐野工場 (泉佐野)



**HATSUTA**

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573 大阪府枚方市初田田辺3-5 TEL. (0720) 56-1281  
東京本社 〒116 東京都港区大塚2丁目6-1 TEL. (03) 3434-4841

原点はロソフリンバンシオンです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢がある。  
そこにある。

## ■ 優良危険物取扱者

▷川口修(大阪) ▷脇本興司(大阪) ▷麻生明弘(富田林) ▷浜元進(堺高石)

## ■ 危険物保安功労者

▷大岩茂夫(豊中) ▷川口博司(高槻) ▷岩原敬一(大阪) ▷稲葉勝彦(河内長野) ▷三代澤康雄(大阪府危険物安全協会)

## 〔財大阪府危険物安全協会理事長表彰〕

▷小林製薬株大阪工場(大阪) ▷株川本倉庫安治川営業所(大阪) ▷株星野石油(豊能) ▷住友特殊金属株山崎製作所(鳥本) ▷山文油化株吹田工場(吹田) ▷パーカー加工株門真工場(守口門真)▷東大阪石油株(東大阪)▷巴紙工(八尾)▷株天美(松原)▷坂口石油店(柏羽藤)▷象印チエンブロック株(大阪狭山)▷上野輸送株関西支店堺事業所(堺高石)▷株サンユー(堺高石)▷関西アポロ株岸和田臨海給油所(岸和田)

## ■ 優良会員事業所

▷東洋製罐株高槻工場(高槻)▷株枚方近鉄百貨店(枚方寝屋川)▷阪急バイオインダストリー株(枚方寝屋川)▷大東市再開発ビル株(大東)▷松本住宅設備機器(富田林)▷三進金属工業株(忠岡)▷旭紡織株(泉南)

## ■ 優良危険物取扱者

▷宮崎裕幸(大阪)▷幸崎忠(大阪)▷室谷治彦(大阪)▷高桜公夫(豊中)▷真砂良尚(東大阪)▷仙田久紀(堺高石)

## ■ 功労役員等

▷柳沼龍雄(摂津)▷江 聡祐(摂津)▷丹司善男(美原)▷後藤典明(富田林)

## ■ 論文優良賞受賞者

▷富山徹郎(タツタ電線株)▷前田信也(住友電気工業株大阪製作所)

## 懸賞論文 入選作決まる

## 優良賞 富山・前田両氏に

〔財大阪府危険物安全協会〕では“第18回危険物安全管理に関する論文”を募集していたが、このほど入選作品5点が決定した。

今回の募集には、府下の危険物関係事業所より18点の作品の応募があり、慎重に審査の結果、優良賞に富山徹郎氏、前田信也氏の両氏が、また、佳作として熊本正俊氏、百田邦亮氏、川邊義明氏の3氏がそれぞれ入選となった。

## 〈優良賞〉

- ・「防災活動の手法考察」  
富山 徹郎 タツタ電線株
- ・「危険物管理の向上を目指して」  
前田 信也 住友電気工業株大阪製作所

## 〈佳作〉

- ・「危険物の安全管理」  
熊本 正俊 ジェムポリマー株
- ・「研究開発部門における危険物管理および教育」  
百田 邦亮 森田化学工業株
- ・「関西国際空港における航空燃料の安全管理」  
川邊 義明 関西国際空港株

## 空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計  
遠隔式警報ユニット液面計  
各種液体タンク用液面計  
フロートスイッチ・微圧スイッチ  
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全  
・ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8

## 第18回安全管理論文優良賞

## 「防災活動の手法考察」

タツタ電線(株) 総務部  
富山 徹郎

はじめに

当社の本社・大阪工場は生駒山を望む河内平野のほぼ中央に位置する東大阪市若田町に所在し、かけがえないエネルギーを産業や家庭へと送る電力ケーブル並びに大量の情報を伝え高度情報化時代の一翼を担う光通信をはじめとする通信ケーブル、電子部品、電子材料分野で社会に貢献している。

大阪工場に於いて危険物としては、第4類；第1石油類のシンナー、トルエン、第2石油類の軽油、灯油、印刷インク、第3石油類のグリス油、マシン油、第4石油類のギヤーオイル、タービン油、アルコール類の防錆剤が主なものであり、危険物施設としては、屋外タンク貯蔵所1、屋内貯蔵所3、少量危険物貯蔵取扱所23箇所があり、総量は指定数量の75倍を有している。

さて、弊社は、昭和36年9月、火災により約10,000㎡を一瞬にして灰と化した苦い経験がある。現在の様な金融不安経済社会下に於いて、万一、再度同じ様な災害が起きたらばと想像すれば倒産の文字しか浮かばないのが現状である。ややもすると経済的な対策にのみ走りがちであるが、逆にこんな時こそ、災害を出さないための基礎固めが、より重要であると考えている。弊社創立50年の歴史を語る時、あの36年前の大火災は、決して忘れる事の出来ない出来事として、社員の脳裏に焼きついている。

この大火災を教訓に、直ちに安全・衛生・防火管理規定を「職場の災害および事故を未然に防止し、従業員の健康維持を目的とする」との趣旨により制定した。その後、数回の見直し、改定を行ない、現在は防火委員会および安全衛生委員会を中心に、安全防災の諸施策や活動を実施している。今回、この様な反省の機会を得たので、他社の活動に比較すると、足元にも及ばない内容かもしれないが、弊社の今後の防災活動を実りある活動に資するため、主要な活動について記述

し、考察する。

## 1. 防災活動の現状

## (1) 防火目標の設定

新年度の防火目標を3月に防火委員会を開催し決定する。もちろん「ゼロ火災」である。

## (2) 防火スローガンの設定

社員の防火意識を維持、向上するために、毎年2月に全社員より防火スローガンを募集し、防火委員会で選考のうえ、最優秀作を年度スローガンとして、正門および各職場に掲示している。ちなみに、この防火スローガンの募集には全社員の9割以上の社員が応募しており、防火意識の高揚に一役を担っていると考えている。

## (3) 月間防火重点取組み項目

毎月の防火に対する重点取組み項目を決めている。

[例] ① 4月………火元の確認

② 7月………消防・消火設備管理の徹底

③ 10月………危険物・可燃物管理の徹底

## (4) 具体的実施項目

毎月の重点取組み項目に対して具体的に実施する点検、チェック項目を記載した点検表を毎月4～5枚(種類別)を発行して、点検結果を報告させ、不具合箇所は直ちに改善する様にしている。

[例] ① 電気配線・ガス配管点検表

② 危険物の保管量・標識・掲示板点検表

③ 屋内貯蔵所の保有空地点検表

## (5) 自衛消防隊訓練

毎月1回消防ポンプ3台による放水訓練を実施し、技能の向上および消防用水槽、消火栓の機能点検もあわせて実施している。

## (6) 消防総合訓練

毎年9月に火災の再発防止と防火意識の高揚および自衛消防隊の技能向上を目的として、全社規模で、通報、避難、初期消火、救護、危険物の排除、屋内消火栓の放水、消防ポンプ放水等の内容で所轄消防署視閲の元で実施している。

## (7) 外来業者に対する防災教育

会社敷地内に於いて、外来業者によって、工事を実施する場合は、事前に依頼管轄部署により「外来業者作業心得」に基づいて教育を行うとともに「工事施工届」を提出のうえ、許可を得て許可証および消火器を貸与し、常備のうえ工事する様にしている。

以上が防災活動の代表的なものである。

## 2. 防災活動の問題点と対策

### (1) 危険物特性に対する知識の欠如

大阪工場で製造部門に従事している約300名の内、危険物免状取得者は107名であり、ようやく3割を越えたところである。幸いにして、創業以来危険物による災害は発生していないが、印刷インクの希釈液として使用しているシンナーが、目に入る事故が毎年1～2件発生している。この原因を調べて見ると、作業マニュアルでは、印刷インクやシンナーを取り扱う時は、保護メガネを着用することになっているが残念ながら、この作業マニュアルを守らなかったことが起因している。また、この様な事故を起こした人は、必ず異口同音に「こんなに痛むとは知らなかった」と嘆く。自分が作業で使用する材料の特性を知らずに、作業に従事している。恥ずかしながら、これが現状である。弊社は、2年前からTPM (Total Productive Maintenance) 活動を導入し全社的運動として展開している。このTPM活動は「総合的効率化の企業体質づくり」を目標にして、生産システムのライフサイクル全体を対象とした“災害ゼロ・不良ゼロ・故障ゼロ”など、あらゆるロスを未然防止する仕組みを現場現物で構築し、生産部門をはじめ、開発、営業、管理などの、あらゆる部門にわたって、トップから第一線従業員に至るまで全員が参加し、ロスをゼロにすることを指針として運動を精力的に展開している。

このTPM活動の一環として、スキルの向上 (資格取得) 30%増に取り組んでいる。企業としては予備講習、受験費用等の経済負担が増加するが、危険物の特性を充分把握していれば、取り扱い時における災害が防止出来、作業マニュアルの重要性も認識される筈である。その効果は災害防止の事前投資と言う観点から見れば、生きた投資として寄与すると確認している。

### (2) 防災教育の重要性

新入社員教育の一環として、弊社では地区の防火協会および危険物取扱事業所部会が主催する消防技術大会に毎年参加している。この大会に向けて約2週間のトレーニングを行うが、昨年次の様な事件が発生した。それは、トレーニングを開始して、2日目の出来事であった。トレーニングを開始しようとした時、新入社員の一人が「今日も練習するのですか」と尋ねてきた。指導していた私は激怒した「今日は、まだ2日目だ、ちゃんと出来るなら練習しなくてもいい」と言う。「出来る」と言う。そこで私は、やらせて見ることにした。結果は、声は出ない。呼吸は合わない、順

序は間違う、予想通りである。そこで私は「こんな状態で大会に出るのか」と質問した。その答えが「大会では、ちゃんと出来る」である。呆れてしまったが、業務命令との理由で、その後もトレーニングは続行したが、大会結果は言うまでもなく最下位である。反省会で私は、学生時代の趣味でやるクラブ活動ではない。社会人であり、職業人である。会社がなぜ高い費用をかけて教育するのか考えてほしい。火事を出さない事が第一であるが、万一、発生した時に、いかに最小限の被害に食い止めるか。練習で出来ても本番ではなかなか出来るものではない。この大会で理解できた筈である。もし火事が発生した時、動揺し、訓練の半分も発揮できれば良い方である。だから毎月放水訓練を実施して、消火活動が身に付く様にしているんだと。最後に「よくわかりました。失礼な言葉を口にしてすみませんでした」と謝罪の言葉を耳にした時、大会に参加した意義が実感できた。この新入社員達が今後の防災活動や自衛消防隊の中心となり、会社を守るのである。教育、指導と簡単に口にするが、今回の体験で教育、指導の難しさと重要性を再認識させられた。また、誠心誠意取り組み、必ず理解してもらえることも知ることが出来た。この貴重な体験を今後の防災教育に生かさなければならぬと痛感している。

### (3) 日常管理の重要性

危険物を貯蔵するための設備は、新設した時点から老朽化が進むが、この自然老朽の他に人的ミスによる破損も考慮し管理しなければならない。弊社でもフォークリフトの運転ミスにより排気ダクトや扉を破損したりすることが時々発生する。破損した者が速やかに報告してくれればよいが、放置されたままで長時間経過すると思わぬ事故が発生する危険がある。もし排気ダクトの破損により貯蔵所内に可燃性の蒸気が滞留していれば、わずかな火源で爆発する危険がある。容器も長時間使用していると腐食して洩れる危険もある。この様な予測される危険な状態を少しでも減少するために、安全面全体を対象したKYT (危険予知訓練) 活動やヒヤリ・ハット報告運動を通じて、潜在災害の撲滅に努力している。また、この様な背景で4ヶ月に1回年3回危険物施設の総合点検を実施しているが、施設によっては、築後30年を経ているものがあるため、月1回の総合点検を検討しているところである。また、点検内容も更に充実したものにするため、現在資料を集めながら検討している。

### (4) 外来業者への防災教育の充実

昨年の7月、外来業者によって、ビニールコンパウ

ンド工場で排気ダクトの溶接修理を行っていた際、ダクト内に付着していたコンパウンドが突然燃えて、黒煙がたちこめる事故が発生した。この時は、ダクトの中であったために、炎は外へ出なかったのが、大事には至らなかったが、一步間違うと大変な災害になる場所であった。この苦い経験を教訓に、対策として工事をやる際は、依頼管轄部署（保全課、生産技術課）により「外来業者作業心得」に基づいて、教育するとともに、現場の状況（危険物、電気配線、ガス配管等）について現場監督者による指導を義務づけて実施したところである。

#### 5) 災害事例の有効活用

安全衛生委員や防火委員による月1回のパトロールによる不具合状態や不安全行動のチェックによって、潜在災害の排除に努力している。また、労働基準監督署や同業者団体組織より、不幸にして発生した災害事例を参考に頂き、朝礼および職場安全会議の中で、生きた教材として、自職場では、どうすればこのような災害を防止出来るか、水平展開しながら、同じ災害を繰り返す事の無い様に、全員で取組みを行なっている。しかし、他人事としか受け取らない人が居るのも事実である。「鉄は熱い内に打て」の諺にあるように、時期が大切である。新聞やラジオ・テレビ等で報道された時は皆んなの関心が高まっているため、その教育効果も大きい。今後は、より有効な教育方法も考慮しながら実施しなければならないと考えている。

### 3. 防災活動の今後の課題

防災活動を行う上で、重要かつ不可欠なことは、取り組む姿勢である。いかに設備や作業マニュアルが整備されていても、取扱い管理する人間が、いい加減で

は、たとえ100回は、うまく行っても、101回目には事故が発生する。弊社は冒頭に述べた様に、過去火災により大被害を受けている。そのため、こと安全確保に関する厳しさ、理解については、どの企業と比較しても決して引けをとらないと自負している。要は全社員が、いかに自覚し、日常活動の中で真剣に取組むか、にかかっている。危険物免状を取得したから、保安講習を受講したからと言って安全が確保されるものではない。防災の数パーセントを上昇させる知識を得ただけである。今後は高度な知識と技術を身に付けた実行力のある人材の育成に努めなければならないと考えている。

おわりに

防災担当として3年を経過しようとしているが、業務を振り返って見ると、時々、防災基準に関して「融通がきかない」とか「うるさいやつだ」と言われることがある。しかし、こと安全確保に関しては当然だと思っている。なぜなら、この世に危ない事は、たくさんある。例えば、自動車も飲酒運転や無謀な運転をすれば危ない。しかし、規則を守り、安全運転をすれば便利で快適なものである。ところが、危険物はこの世で唯一、危険物（総称）として、危ない物だと管理されているものである。自動車は使っていない時は、安全であるが、危険物は使っていない時（貯蔵）でも、空気、水、温度、湿度、換気等の影響で爆発する危険物である。だから、危険物は、性質に応じた適正な日常管理をしなければならない。取扱い時に注意しなければならないことは、言うまでもない。「うるさいやつだ」の答は、私が防災担当業務を終える時、「無災害」の金字塔が建つことで得られるものであると確信している。

#### 普通消防ポンプ車

# MX-1

消防そして救助。

災害にも即応する資機材を搭載。

- MX-1専用キャブ、ハイルーフレッドワイドウィンド
- オートマチックトランスミッション
- フルパワーP.T.O.
- デジタル表示集中コントロールパネル
- 動力式ホースレイヤー
- 吸管、各種放水器具、資機材をコンパクトに収納



# MURITA

株式会社モリタ

本社 / 〒544 大阪市生野区小路東5丁目5番20号 TEL (06)756-0110 FAX (06)754-3461



## 〈平成10年 第1・2期(7月~12月) 保安講習日程表〉

◇化学工場関係			
回数	開催日時(予定)	会場	所在地又は最寄駅
17	7月28日(火) 午前	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅

◇大阪北港コンビナート関係			
回数	開催日時(予定)	会場	所在地又は最寄駅
41	10月22日(木) 午後	住友金属(株)	JR・桜島線・安治川口駅
44	10月27日(火) 午後	住友金属(株)	〃

◇給油取扱所関係			
回数	開催日時(予定)	会場	所在地又は最寄駅
9	7月7日(火) 午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
11	7月8日(水) 午後	*堺市民会館	南海・高野線・堺東駅
12	7月9日(木) 午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
14	7月22日(水) 午後	大阪府商工会館	〃
19	7月30日(木) 午後	*岸和田競輪場	南海・本線・春木駅
26	9月24日(木) 午後	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
37	10月13日(火) 午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅

◇タンクローリー関係			
回数	開催日時(予定)	会場	所在地又は最寄駅
20	9月5日(土) 午前	大阪府トラック総合会館	JR・環状線・京橋駅
23	9月19日(土) 午前	大阪府トラック総合会館	〃
36	10月12日(月) 夜	*臨海センタービル	堺市石津西町7
38	10月16日(金) 午後	*臨海センタービル	〃

- 注1. 保安講習の講義時間は3時間です。  
(開講時間は、講習会場によって若干異なります。)
- 注2. 会場欄中\*印の会場は駐車可。  
(ただし、堺市民会館は有料。)

◇その他・一般			
回数	開催日時(予定)	会場	所在地又は最寄駅
5	7月2日(木) 午後	*堺市民会館	南海・高野線・堺東駅
6	7月3日(金) 午後	泉大津市民会館	南海・本線・泉大津駅
7	7月6日(月) 午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
8	7月7日(火) 午前	大阪府商工会館	〃
10	7月8日(水) 午前	*堺市民会館	南海・高野線・堺東駅
13	7月17日(金) 午後	泉佐野市消防本部	南海・JR・りんくうタウン駅
15	7月23日(木) 午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
16	7月27日(月) 午後	大阪府商工会館	〃
18	7月28日(火) 午後	大阪府商工会館	〃
21	9月16日(水) 午後	和泉解放総合センター	JR・阪和線・信太山駅
24	9月22日(火) 午後	豊中市消防本部	阪急・宝塚線・豊中駅
25	9月24日(木) 午前	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
28	9月28日(月) 午後	柏羽藤消防本部	藤井寺市青山3-613-8
33	10月8日(木) 午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
40	10月20日(火) 午後	守口門真商工会議所	京阪・門真市駅
42	10月23日(金) 午後	八尾市消防本部	八尾市高美町5-7
43	10月26日(月) 午後	大東市消防本部	JR・片町線・住ノ道駅
45	10月28日(水) 午前	北河内府民センター	京阪・枚方市駅
46	10月28日(水) 午後	北河内府民センター	〃
47	10月29日(木) 午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
48	10月30日(金) 午前	高槻市消防本部	JR・阪急・高槻駅
49	10月30日(金) 午後	高槻市消防本部	〃
50	11月24日(火) 午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
51	11月30日(月) 午後	吹田メシアター	阪急・千里線・吹田駅
52	12月2日(水) 午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅

第3期(平成11年2月期)の予定は次のとおりです。

- 大阪市内 3会場、東大阪 2会場、茨木・堺 各1会場区分はすべて、「その他・一般」です。

天然素材で環境にやさしい!!

### 油吸着材 オイルファスター

環境保全が重要なテーマとなった今日、  
オイルファスターは、時代のニーズにこたえます。

#### 特長

- 抜群の吸着力とすぐれた補捉力。
- うれしいコストパフォーマンス。
- 長期保管が可能。
- 焼却処分も安心。

#### 用途

- 工場の側溝・油水分離槽の浮上油回収。
- 機械廻り・道路の漏れ油回収。
- 排水のろ過材として。
- 海上・河川の流出油回収。



大阪ヒューズ株式会社

〒541-0053 大阪市中央区本町3丁目2番6号  
TEL(06)241-1908(代) FAX(06)241-1904